

ダイソー「Bluetoothシャッター」の改造資料

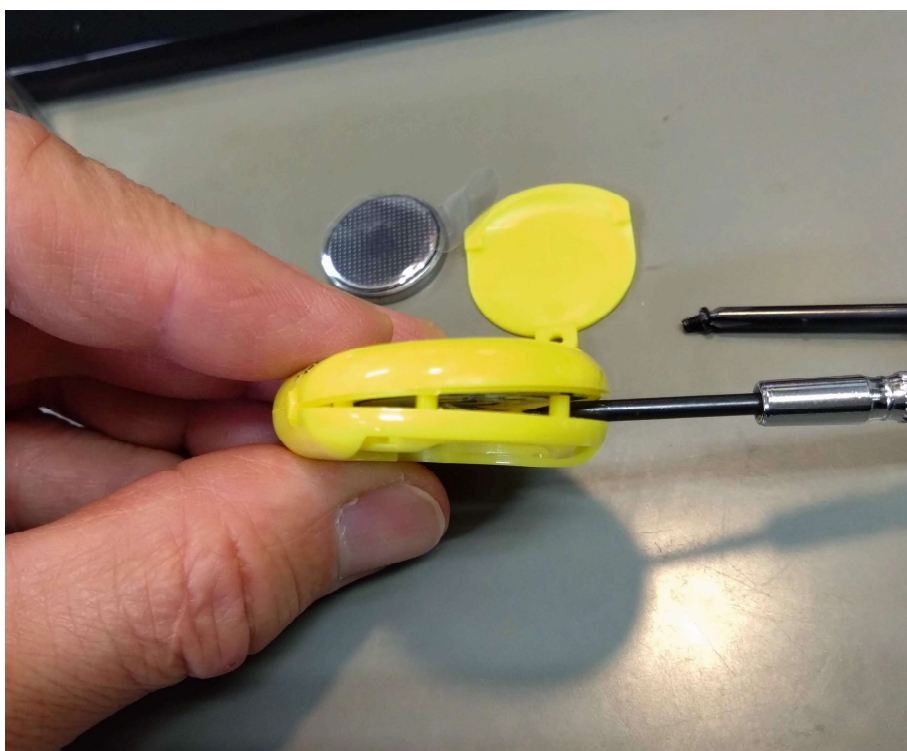
1. 改造する「Bluetoothシャッター」の入手

学校に大量に導入されたipadを使って写真を撮る機会が増えてきたので、子どもたちの活動として自分でシャッターを切ることができると楽しいかなと考えてBluetoothシャッターの改造を試みることにしました。ダイソーで300円商品でしたが「Bluetoothリモートシャッター」という商品を購入しました。



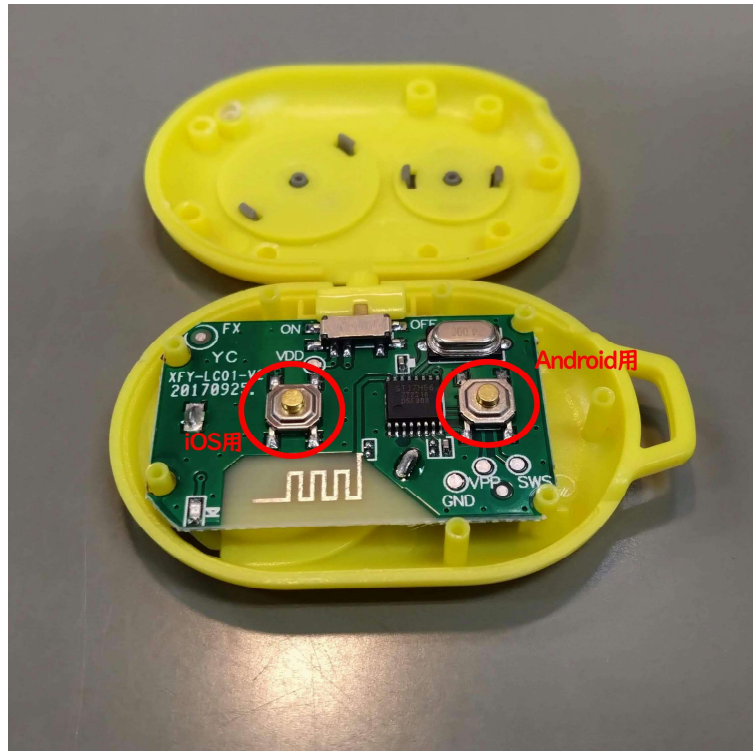
2. 本体の分解

結構、このタイプの物を改造しているサイトがあったので分解については参考になりました。電池を外してからマイナス 精密ドライバーの先を隙間に差し込んでこじ開けます。



3. 基盤の確認

基盤を見るとAndroid用のシャッターボタンとiOS用のシャッターボタンが確認できます。今回は学校のipadで使用する予定なのでiOS用のシャッターボタンを外部に出す改造をしますが、用途によってAndroid用のボタンを使用する場合もあると思います。また二つとも外部に出す改造をすることも可能だと思います。うまく改造すればスイッチで切り替えるように改造することもできると思います。



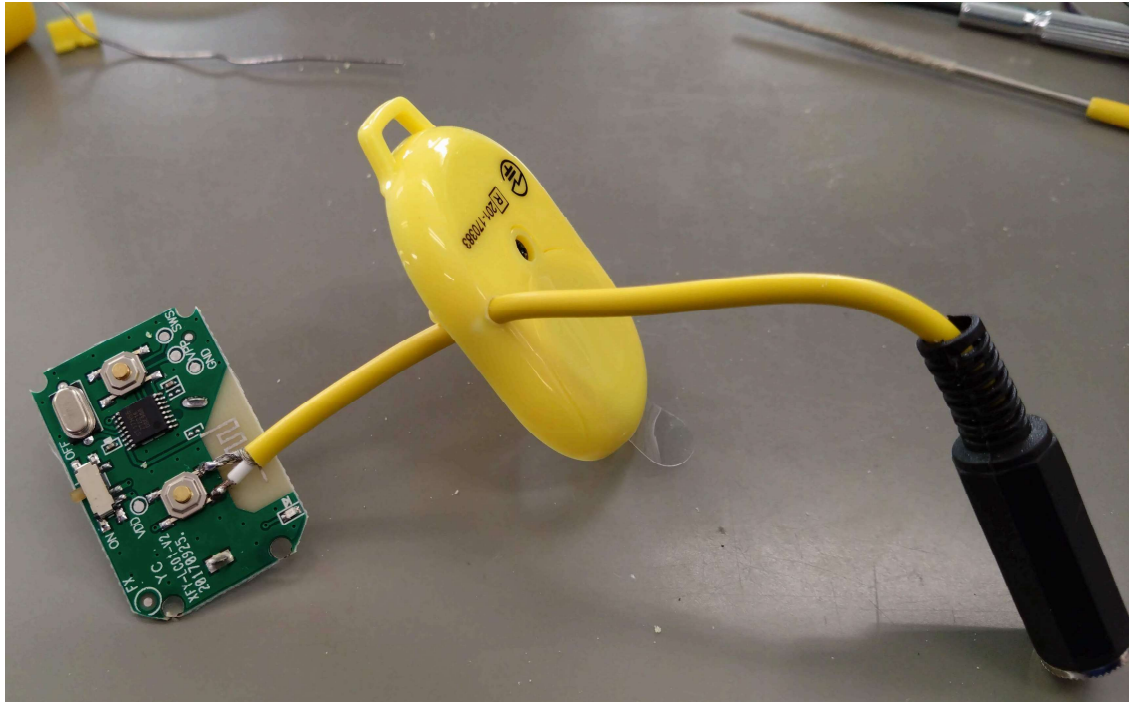
4. ケーブル用の穴開け

本体がとても小さいのでアダプターを内部に取り付けることはできないのでケーブルで外部に出します。そのため穴をドリルを使って開けました。使用するケーブルの太さによって適当な大きさの穴を開けてください。



4. スイッチとケーブルの固定

外部スイッチを接続するためのジャックを取り付けます。事前にケーブルとジャックの接続はしておいてから、本体に開けた穴を通してから、基板との半田付けをする良いでしょう。基板の接続する部分はテスター等で確認してから接続してください。ここを間違えるとあとで修正が大変になります。



5. 本体の組み上げて完成

改造としては結構簡単にできます。後は元の通りに組み上げるだけです。



注：材料費はダイソーのBluetoothシャッター、モノラルジャックで400円程度で済みます。
配線、半田等は別途必要です。
道具は精密ドライバー、ニッパ、ドリル、半田ごてなどが必要です。